

優秀賞

誰の良いところ？連想ゲーム

森園 智子 (大学4年生：東京都)

中学生の時、先生が『自分のことを好きな人、手を挙げて』と言いました。しかし、クラスでは40人中1人しか手が挙がりませんでした。

自分のことが好きではないと思っている人が多いというのは少し寂しいことです。そこで、自分自身を好きになって貰うお手伝いができるゲームを考えました。

【用意するもの】

紙、ペン

【ルール】

- ①参加者全員で自分以外の参加者の良いところを紙に一つずつ書いていきます。紙には裏に参加者1人の名前、表に良いことを書き、参加者全員分書きます。(書くことは良いことであれば参加者の長所でも、参加者との嬉しかったエピソードでも良い。)
- ②代表者が名前の面を表にして集め、個人の良いことカード毎に分けておきます。他の参加者は輪になって座ります。
- ③代表者は他の参加者にわからないようにカードの束から1人を選び、その人の良いことを一つずつ読み上げていきます。
- ④他の参加者は誰の良いところか分かったところで手を挙げて、早い人から名前を言います。かぶったらジャンケンします。
- ⑤誰の良いところか当たっていたら、その人は輪を抜けます。誰の良いところか当てられたら、代表者は次の人の良いところを読み上げ始めます。名前が間違っていたら、次の人の良いところの読み上げが始まるまで、その人は名前を当てることは出来ません。(代表者は最初の人か抜けたら、読み上げを交代して輪に入ってもよい)
- ⑥順々に抜けていき、最後まで残っていた人が負けです。
- ⑦ゲームが終わったら自分の良いところカードは貰うことができます。

このゲームは匿名で良いところを書くので、普段気恥ずかしいような褒め言葉も素直に書くことが出来ます。相手の良いところを見つける訓練にもなりますから、自分の良いところを認めつつ、相手の良いところも認められるような友人関係を構築するのにも役立つはずです。